

## ユニバーサルビューティークレジット 授業科目一覧表

衛生専門課程 総合美容科

教科科目		主な授業形態	授業時間数			単位数	
			1年	2年	計		
必修 課 目	関係法規・制度	講義		30	30	1	
	衛生管理	講義	60	30	90	3	
	保健	講義	30	60	90	3	
	香粧品化学	講義	30	30	60	2	
	文化論	講義	30	30	60	2	
	美容技術理論	講義	90	60	150	5	
	運営管理	講義		30	30	1	
	美容実習	実習	570	330	900	30	
小 計			810	600	1410	47	
選 択 課 目	一般教養 課目	香粧品化学基礎	講義	30		30	1
		ビジネスマナー	講義	60		60	2
	専門 教 育 課 目	サロンワーク	実習	30	30	60	2
		美容学科演習	演習		60	60	2
		ヘアデッサン	実技	30	30	60	2
		美容総合技術	実習		210	210	7
		ヘアテクニックⅠ ※1	実習	60			
		ネイルテクニック ※1	実習				
		メイクテクニック ※1	実習				
		ヘアテクニックⅡ ※2	実習		60	60	2
		和装技術 ※2	実習				
エステティック ※2	実習						
小 計			210	390	600	20	
合 計			1020	990	2010	67	

※1、※2の課目群のうちの1つを1年、2年でそれぞれ選択履修する。

## 令和2年度 学習指導計画

課目名	関係法規・制度		単位数	1	年間 時数	30
対象 学科	総合美容科	学年	2	クラス	2-A、2-B、2-C、2-D	
履修 時期	通年・前期・後期・その他( )			課目	必修課目 選択課目	
使用教材	日本理容美容教育センター発行 関係法規・制度 法令集 ワークブック			授業の種類	講義・演習・実習	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】 社会における法の役割を通して、美容師法の意義を理解する。</p> <p>【達成目標】 美容師国家試験に合格するために必要な美容師法の知識をを修得させる。</p>					
実務経験						
月	指導予定 時間数	指導内容				試験計画
4月	3	第1章 法制度の概要 第1節 社会生活における法の役割 第2節 法の形式 第3節 衛生法規の概要 第4節 理容師法・美容師法と附属法令				
5月	3	第2章 衛生行政の概要 第1節 衛生行政の意義と歴史 第2節 衛生行政の分類と生活衛生行政の内容				
6月	4	第3節 衛生行政を担う行政機関				
7月	3	第3章 美容師法 第1節 目的				前期定期試験
8月	0					
9月	3	第2節 用語の定義 第3節 美容師に関する規定 第4節 施設に関する規定				
10月	5	第5節 立入検査と環境衛生監視員 第6節 違反者等に対する行政処分 第7節 罰則				
11月	4	第4章 関連法規 ワークブックによる演習				
12月	2	ワークブックによる演習				
1月	0					
2月	3	国家試験過去問題演習				後期定期試験
3月						

【 評価基準 】

・定期試験の成績を100%とし100点法で評価

※学年の評価は前期と後期の平均とし、59点以下の場合は課題提出させ合格とする

## 令和2年度 学習指導計画

課目名	衛生管理		単位数	2	年間 時数	60
対象 学科	総合美容科	学年	1	クラス	1-A、1-B、1-C、1-D	
履修 時期	通年・前期・後期・その他( )			課目	必修課目・選択課目	
使用教材	日本理容美容教育センター発行 衛生管理 ワークブック			授業の種類	講義・演習・実習	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】 美容師に必要な環境衛生や公衆衛生・感染症や消毒について学ぶ。</p> <p>【達成目標】 美容師国家試験に合格するために必要な公衆衛生や感染症の知識を修得させる。</p>					
実務経験						
月	指導予定 時間数	指導内容				試験計画
4月	4	1編 公衆衛生 1章 公衆衛生の概要 1節 公衆衛生の意義と課題 2節 公衆衛生発展の歴史 3節 理容師・美容師と公衆衛生				小テスト
5月	6	4節 保健所と理容業・美容業 2章 保健 1節 保健				小テスト
6月	6	2編 環境衛生 1章 環境衛生 1節 環境衛生の概要 2節 空気環境 3節 衣服・住居の衛生				小テスト
7月	4	4節 上・下水道と廃棄物 5節 衛生害虫とねずみ 6節 環境保全				前期定期試験
8月						
9月	6	3編 感染症 1章 感染症の総論 1節 人と感染症				小テスト
10月	6	2節 病原微生物				小テスト
11月	6	3節 感染症の予防				小テスト
12月	6	2章 感染症の各論 1節 理容・美容と感染症 2節 主な感染症				小テスト
1月	6	3節 具体的な対策の例				小テスト
2月	6	1年の復習				後期定期試験
3月	4	1年の復習				

**【 評価基準 】**

- ・定期試験の成績90%
- ・授業態度・出欠・小テスト・提出物10%とし100点法で評価

※学年の評価は前期と後期の平均とし、59点以下の場合は課題提出させ合格とする

## 令和2年度 学習指導計画

課目名	衛生管理		単位数	1	年間 時数	30
対象 学科	総合美容科	学年	2	クラス	2-A、2-B、2-C、2-D	
履修 時期	通年 前期・後期・その他( )			課目	必修課目 選択課目	
使用教材	日本理容美容教育センター発行 衛生管理 ワークブック			授業の種類	講義・演習・実習	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】 美容師に必要な環境衛生や公衆衛生・感染症や消毒について学ぶ。</p> <p>【達成目標】 美容師国家試験に合格するために必要な公衆衛生や感染症の知識を修得させる。</p>					
実務経験						
月	指導予定 時間数	指導内容				試験計画
4月	2	4編 衛生管理技術 1章 消毒法総論 1節 消毒とは 2節 消毒の意義 3節 理容・美容の業務と消毒との関係 4節 消毒法と適応上の注意				
5月	2	2章 消毒法各論 1節 理学的消毒法 2節 化学的消毒法 3節 すぐれた消毒法とその実施上の注意				
6月	4	3章 消毒法実習 1節 各種消毒法 2節 理容所・美容所の消毒の実際 3節 理容所・美容所の清潔法の実際				
7月	3	5編 衛生管理の実践例 消毒法についての復習・試験・解説				前期定期試験
8月						
9月	2	公衆衛生復習				
10月	4	環境衛生・感染症復習				
11月	5	感染症各論・消毒薬復習				
12月	2	消毒薬希釈法復習				
1月						
2月	6	国家試験対策講義・期末試験・解説				後期定期試験
3月						

【 評価基準 】

・定期試験の成績を100%とし100点法で評価

※学年の評価は前期と後期の平均とし、59点以下の場合は課題提出させ合格とする

## 令和2年度 学習指導計画

課目名	保健		単位数	1	年間 時数	30
対象 学科	総合美容科	学年	1	クラス	1-A、1-B、1-C、1-D	
履修 時期	通年 前期・後期・その他( )			課目	必修課目・選択課目	
使用教材	日本理容美容教育センター発行 保健 ワークブック			授業の種類	講義・演習・実習	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】 美容師に必要な人体の構造及び各名称・機能・特徴などを学び、技術の習得や向上に役立てる。</p> <p>【達成目標】 美容師国家試験に合格するために必要な人体の構造及び機能の解剖学を修得させ、第3者にも説明できるようにする。</p>					
実務経験						
月	指導予定 時間数	指導内容				試験計画
4月	2	はじめに保健を学ぶにあたって、 第1章『頭部、顔部、頸部の体表解剖学』1項「人体各部の名称」、 2項「頭部、顔部、頸部の体表解剖学」1節「眼とその周辺」				
5月	3	2項2節「耳とその周辺」、3節「鼻とその周辺」、4節「口とその周辺」、 5節「プロポーション」、第2章『骨格器系』1項「骨の種類と構造」、2項「骨の連結」、 3項「骨格器系とそのはたらき」1節「頭蓋」				
6月	3	3項2節「脊柱」、3節「胸郭」、4節「上肢骨と下肢骨」、 第3章『筋系』1項「筋の種類とその特徴」、2項「主な骨格筋とそのはたらき」				
7月	2	3項「表情筋と表情運動」、4項「理容・美容の作業と筋疲労」、 第4章『神経系』1項「神経系の成り立ち」				前期定期試験
8月	1	第4章2項「中枢神経とその働き」				
9月	2	第4章3項「末梢神経とその働き」、第5章『感覚器系』1項「視覚」				
10月	4	第5章2項「聴覚」、3項「平衡感覚」、4項「味覚」、5項「嗅覚」				
11月	3	第6章『血液・循環器系』1項「血液のあらまし」、1節「血球」、2項「血液循環の仕組み」				
12月	3	第6章3項「血液の循環経路」、4項「心臓と血管のはたらき」、 5項「リンパ管系の仕組みと働き」、第7章『呼吸器系』1項「呼吸器のあらまし」				
1月	4	第7章2項「気道」、3項「肺の仕組みとガス交換」、4項「呼吸運動」、第8章『消化器系』 1項「消化器系のあらまし」、2項「消化管の仕組み」1節「口腔」、2節「唾液腺」、 3節「食道」				
2月	3	第8章2項4節「胃」、5節「腸」、3項「消化管のはたらき」、4項「消化と物質代謝」				後期定期試験
3月						

【評価基準】

- ・定期試験の成績80%
- ・授業態度・出欠・小テスト・提出物20%とし100点法で評価

※学年の評価は前期と後期の平均とし、59点以下の場合は課題提出させ合格とする

## 令和2年度 学習指導計画

課目名	保健		単位数	2	年間 時数	60
対象 学科	総合美容科	学年	2	クラス	2-A、2-B、2-C、2-D	
履修 時期	通年 前期・後期・その他( )			課目	必修課目・選択課目	
使用教材	日本理容美容教育センター発行 保健 ワークブック			授業の種類	講義・演習・実習	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】 美容師に必要な人体の構造、皮膚の構造や生理機能、皮膚付属器官の保健や疾患について学ぶ。</p> <p>【達成目標】 美容師国家試験に合格するために必要な人体の構造及び皮膚の構造を修得させる。</p>					
実務経験						
月	指導予定 時間数	指導内容				試験計画
4月	5	第1章 皮膚の構造				小テスト
5月	8	第2章 皮膚付属器官の構造				小テスト
6月	8	第3章 皮膚の循環器系と神経系				小テスト
7月	2	第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能				前期定期試験
8月						
9月	4	第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能				小テスト
10月	8	第5章 皮膚と皮膚付属器官の保健				小テスト
11月	8	第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患				小テスト
12月	4	復習				
1月	4	復習				
2月	9	国家試験対策				後期定期試験
3月						

【 評価基準 】

- ・定期試験の成績90%
- 出席点10%
- 提出物点10%   とし100点法で評価

※学年の評価は前期と後期の平均とし、59点以下の場合は課題提出させ合格とする

## 令和2年度 学習指導計画

課目名	化粧品化学		単位数	1	年間 時数	30
対象 学科	総合美容科	学年	1	クラス	1-A、1-B、1-C、1-D	
履修 時期	通年・前期・ <b>後期</b> ・その他( )			課目	<b>必修課目</b> ・選択課目	
使用教材	日本理容美容教育センター発行 化粧品化学 ワークブック 自作プリント			授業の種類	<b>講義</b> ・演習・実習	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】 化粧品に関する法律と取り扱い、化粧品原料、各化粧品の特性について学ぶ。</p> <p>【達成目標】 美容師国家試験に合格するために必要な化粧品についての科学的な基礎知識を修得させる。</p>					
実務経験						
時間	指導内容				試験計画	
1	化粧品化学基礎で修得した内容の確認テスト				確認テスト	
2~7	第7節 香料 第8節 その他の配合成分					
8	第9節 ネイル、まつ毛エクステンション用材料					
9~12	第3章 基礎化粧品 第1節 皮膚清浄用化粧品					
13~14	第2節 化粧水					
15~18	第3節 クリーム・乳液					
19~20	第4節 その他の基礎化粧品					
21	第4章 メイクアップ用化粧品 第1節 メイクアップ用化粧品の種類と剤形				後期定期試験	
22~24	第2節 ベースメイクアップ化粧品					
25~28	第3節 ポイントメイクアップ化粧品				確認テスト	
29	後期定期試験 解答解説					
30	後期確認テスト					

【 評価基準 】

・定期試験の成績を100%とし100点法で評価

※学年の評価は定期試験の評価とし、59点以下の場合は課題提出させ合格とする

## 令和2年度 学習指導計画

課目名	化粧品化学		単位数	1	年間 時数	30
対象 学科	総合美容科	学年	2	クラス	2-A、2-B、2-C、2-D	
履修 時期	通年・前期・後期・その他( )			課目	必修課目・選択課目	
使用教材	日本理容美容教育センター発行 化粧品化学 ワークブック			授業の種類	講義・演習・実習	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】 1年次に学んだ内容に続き教科書の内容を理解する。理容、美容の技術に用いる化粧品の成分や特性の知識を身に付ける。</p> <p>【達成目標】 美容師国家試験にむけて練習問題を多くこなし、確実に合格点がとれる力をつける。</p>					
実務経験						
月	指導予定 時間数	指導内容				試験計画
4月	2	第5章 1節 シャンプー剤 2節 スタイリング剤				
5月	3	3節 パーマ剤				
6月	3	4節 ヘアカラー製品				
7月	2	5節 育毛剤				前期定期試験
8月						
9月	2	第6章 1節 芳香製品				
10月	3	2節 特殊化粧品				
11月	3	付録 化粧品化学を理解するための基礎化学1～4				
12月	2	付録 化粧品化学を理解するための基礎化学5～7				
1月	3	ワークブック、練習問題				
2月	7	国家試験対策、過去問題、練習問題				後期定期試験
3月						

**【 評価基準 】**

・定期試験の成績100%とし100点法で評価

※学年の評価は前期と後期の平均とし、59点以下の場合は課題提出させ合格とする



## 令和2年度 学習指導計画

課目名	文化論		単位数	1	年間 時数	30
対象 学科	総合美容科	学年	1	クラス	1-A、1-B、1-C、1-D	
履修 時期	通年 前期・後期・その他( )			課目	必修課目・選択課目	
使用教材	日本理容美容教育センター発行 文化論 ワークブック DVD			授業の種類	講義・演習・実習	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】 美容業の歴史や、古代から現在に至るまでの美容文化史を学ぶ。</p> <p>【達成目標】 国家試験に合格するために必要な日本の理容及び美容文化を修得させる。</p>					
実務経験						
月	指導予定 時間数	指導内容				試験計画
4月	2	第1章総論 第2章日本の理容業・美容業の歴史 第1節 理容業・美容業の発生				
5月	3	第2節 江戸時代の理容業・美容業 第3節 近代の理容業・美容業				
6月	4	第4節 現代の理容業・美容業 復習				
7月	2	第1章、第2章の復習及びテスト				前期定期試験
8月	1	第3章ファッション文化史 日本編 第1節 縄文・弥生・古墳時代				
9月	1	第2節 古代(飛鳥・奈良・平安時代)				
10月	3	第2節 古代(飛鳥・奈良・平安時代) 第3節 中世(平安末・鎌倉・室町・戦国時代)				
11月	4	第3節 中世(平安末・鎌倉・室町・戦国時代) 第4節 近世Ⅰ(戦国末・安土桃山時代) 第5節 近世Ⅱ(江戸時代)				
12月	3	第5節 近世Ⅱ(江戸時代)				
1月	3	第6節 近代(明治・大正・昭和20まで) 第7節 現代Ⅰ(1945～1950年代)				
2月	4	第7節 現代Ⅰ(1945～1950年代) 第8節 現代Ⅱ(1960年代～1970年代) 今までの復習				後期定期試験
3月						

**【 評価基準 】**

- ・定期試験の成績80%
- ・出席点10%
- ・提出物点10% とし100点法で評価

※学年の評価は前期と後期の平均とし、59点以下の場合は課題提出させ合格とする

## 令和2年度 学習指導計画

課目名	文化論		単位数	1	年間 時数	30
対象 学科	総合美容科	学年	2	クラス	2-A、2-B、2-C、2-D	
履修 時期	通年 前期・後期・その他( )			課目	必修課目・選択課目	
使用教材	日本理容美容教育センター発行 文化論 ワークブック DVD			授業の種類	講義・演習・実習	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】 美容業の歴史や、古代から現在に至るまでの理美容文化史を学ぶ。礼装の種類を学ぶ。</p> <p>【達成目標】 国家試験に合格するために必要な日本及び西洋の理美容文化、礼装の種類を修得させる。</p>					
実務経験						
月	指導予定 時間数	指導内容				試験計画
4月	3	1年次の復習 第7節 現代Ⅰ(1945年～1950年代)				
5月	3	第8節 現代Ⅱ(1960年代～1970年代)				
6月	3	第9節 現代Ⅲ(1980年代～1990年代) 第10節 現代Ⅳ(1980年代～2000年代以降)				
7月	3	復習 第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装				前期定期試験
8月						
9月	2	第2節 洋装の礼装 第4章 ファッション文化史西洋編 第1節 古代エジプト				
10月	4	第2節 古代ギリシャ・ローマ 第3節 古代ゲルマン 第4節 中世ヨーロッパ 第5節 近世Ⅰ(16世紀)				
11月	4	第6節 近世Ⅱ(17世紀) 第7節 近世Ⅲ(18世紀) 第8節 近代Ⅰ(18世紀末～19世紀初) 第9節 近代Ⅱ(19世紀) 第10節 現代Ⅰ(1910年代～1920年代) 第11節 現代Ⅱ				
12月	2	第12節 現代Ⅲ～第16節 現代Ⅶ(1940年代～2010年)				
1月	2	復習				
2月	4	国家試験対策				後期定期試験
3月						

**【 評価基準 】**

・定期試験の成績80%

・出席点10%

・提出物点10% とし100点法で評価

※学年の評価は前期と後期の平均とし、59点以下の場合は課題提出させ合格とする

## 令和2年度 学習指導計画

課目名	美容技術理論		単位数	3	年間 時数	90
対象 学科	総合美容科	学年	1	クラス	1-A、1-B、1-C、1-D	
履修 時期	通年 前期・後期・その他( )			課目	必修課目・選択課目	
使用教材	日本理容美容教育センター発行 美容技術理論1・2 ワークブック DVD			授業の種類	講義・演習・実習	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】 美容技術を習得しより良い技術を提供するために必要な美容技術理論を学ぶ。</p> <p>【達成目標】 国家試験に合格するために必要な美容技術理論を修得させる。</p>					
実務経験						
月	指導予定 時間数	指導内容				試験計画
4月	6	序章 美容技術理論を学ぶにあたって 第1章 美容用具				
5月	8	第1章 美容用具				
6月	10	第2章 シャンプーイング 第4章 ヘアカットイング 1. ヘアカットイング～6. ヘアカットイングの基礎理論				
7月	6	試験解説 7. ベーシックなカット技法				前期定期試験
8月	4	8. シザーズによるカット技法				
9月	9	9. レザーによるカット技法 第3章 ヘアデザイン				
10月	10	第5章 パーマネントウェーブ				
11月	11	第6章 ヘアセッティング 1. ヘアセッティング～5. ヘアウェービング				
12月	8	6. ローラーカーリング 第7章 ヘアカラーリング 1. ヘアカラーの概論～4. 染毛のメカニズム				
1月	10	5. 色の基本～12. ヘアブリーチ				
2月	8	復習				後期定期試験
3月						

【 評価基準 】

- ・定期試験の成績80%
- ・出席点10%
- ・提出物点10%     とし100点法で評価

※学年の評価は前期と後期の平均とし、59点以下の場合は課題提出させ合格とする

令和2年度 学習指導計画

課目名	美容技術理論		単位数	2	年間 時数	60
対象 学科	総合美容科	学年	2	クラス	2-A、2-B、2-C、2-D	
履修 時期	通年 前期・後期・その他( )			課目	必修課目・選択課目	
使用教材	日本理容美容教育センター発行 美容技術理論1・2 ワークブック 自作プリント		授業の種類	講義・演習・実習		
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】 美容技術を習得しより良い技術を提供するために必要な美容技術理論を学ぶ。</p> <p>【達成目標】 国家試験に合格するために必要な美容技術理論を修得させる。</p>					
実務経験						
月	指導予定 時間数	指導内容			試験計画	
4月	5	第8章 エステティック				
5月	4	第8章 エステティック 第9章 ネイル			エステティック小テスト	
6月	8	第9章 ネイル 第10章 メイク			ネイル小テスト メイク小テスト	
7月	3	美容技術理論1及び第8章～第10章までの復習			前期定期試験	
8月						
9月	4	第11章 日本髪				
10月	8	第11章 日本髪 第12章 和装			日本髪小テスト	
11月	8	第12章 和装 1年次の復習			和装小テスト	
12月	4	美容技術理論1の復習				
1月						
2月	16	国家試験対策			後期定期試験	
3月						

【 評価基準 】

- ・定期試験の成績90%
- ・授業態度・出欠・小テスト・提出物10%とし100点法で評価

※学年の評価は前期と後期の平均とし、59点以下の場合は課題提出させ合格とする

## 令和2年度 学習指導計画

課目名	運営管理		単位数	1	年間 時数	30
対象 学科	総合美容科	学年	2	クラス	2-A、2-B、2-C、2-D	
履修 時期	通年 前期・後期・その他( )			課目	必修課目・選択課目	
使用教材	日本理容美容教育センター発行 運営管理			授業の種類	講義・演習・実習	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営者の考え方や経営者が果たす責任・役割を学ぶ。</li> <li>・人を雇うことの責任や働く上で求められることを学ぶ。</li> <li>・顧客を満足させるサービスとは何か、それをどう実現するかについて学ぶ。</li> </ul> <p>【達成目標】</p> <p>経営や経営者について基本的な考え方や経営の要点を学び国家試験に合格するために必要な運営管理を修得させる。</p>					
実務経験						
月	指導予定 時間数	指導内容				試験計画
4月	2	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは				
5月	1	第2章 理容業・美容業の経営について				
6月	5	第3章 資金の管理				
7月	4	第2編 人という資源 従業員としての視点 第1章 人という資源				前期定期試験
8月						
9月	2	第2章 健康・安全な職場環境の実現				
10月	4	第3章 従業員としての視点から				
11月	5	第3編 顧客のために 第1章 サービスデザイン				
12月	2	第2章 マーケティング				
1月						
2月	5	第3章 サービスにおける人の役割 まとめ及び国家試験対策				後期定期試験
3月						

**【 評価基準 】**

・定期試験の成績70%

・出席点10%

・提出物点10%

・小テスト10% とし100点法で評価

※学年の評価は前期と後期の平均とし、59点以下の場合は課題提出させ合格とする

## 令和2年度 学習指導計画

課目名	美容実習		単位数	19	年間 時数	570
対象 学科	総合美容科	学年	1	クラス	1-A、1-B、1-C、1-D	
履修 時期	通年 前期・後期・その他( )			課目	必修課目・選択課目	
使用教材	日本理容美容教育センター発行 美容実習1・2 美容技術理論1・2			授業の種類	講義・演習・実習	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】 美容実習及び美容技術理論に出てくる美容の基礎技術とそれに伴う理論及び美容師国家試験取得に必要な技術及びそれに伴う理論を学ぶ。</p> <p>【達成目標】 美容師として必要な基礎技術及び美容師国家試験に合格するために必要な技術を習得させる。</p>					
実務経験						
月	指導予定 時間数	指導内容				試験計画
4月	46	・テーブルセッティング、ウエットの仕方、鉗の開閉 ・ワインディング用ウイッグカット、ブロッキング				
5月	73	・ワインディング、ブロッキング(国家試験構成)・カラーリング ・ネイル(検定3級内容)・メイク基礎技術				ネイル試験
6月	76	・ワインディング、ブロッキング(国家試験構成)・カラーリング ・ヘッドマッサージ、ブラッシング、シャンプーの手順				ブロッキング試験
7月	45	・ワインディング、ブロッキング(国家試験構成) ・サイドシャンプー・フォトコン用作品制作				ワインディング試験
8月	14	・ワインディング、ブロッキング(国家試験構成)				
9月	67	・ワインディング、ブロッキング(国家試験構成) ・エステ(フェイシャルケア・ハンドマッサージ)				前期定期試験 ワインディング試験
10月	56	・ワインディング、ブロッキング(国家試験構成) ・和装技術・オールウエーブ用ウイッグパーマ				
11月	48	・ワインディング、ブロッキング、オールウエーブ(国家試験構成) ・編み込み アップ リアシャンプー				
12月	25	・ワインディング、ブロッキング、オールウエーブ(国家試験構成) ・編み込み アップ リアシャンプー				アップスタイル試験 シャンプー試験
1月	43	・ワインディング、ブロッキング、オールウエーブ(国家試験構成)				
2月	42	・ワインディング、ブロッキング、オールウエーブ(国家試験構成)				後期定期試験 ワインディング及び オールウエーブ
3月	35	・ワインディング、ブロッキング、オールウエーブ(国家試験構成) ・ロサンゼルス研修創作ヘアメイクの構成				

【 評価基準 】

・定期試験の成績を100%とし100点法で評価

※学年の評価は前期と後期の平均とし、59点以下の場合は合格するまで再試験を行う

## 令和2年度 学習指導計画

課目名	美容実習	単位数	11	年間 時数	330
対象 学科	総合美容科	学年	2	クラス	2-A、2-B、2-C、2-D
履修 時期	通年・ <b>前期</b> ・後期・その他( )			課目	<b>必修課目</b> ・選択課目
使用教材	日本理容美容教育センター発行 美容実習1・2 美容技術理論1・2		授業の種類	講義・演習・ <b>実習</b>	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次に習得した基礎技術の向上。</li> <li>・ロサンゼルス研修やヘアショーなどで創作スタイル作成及び撮影技術といった応用技術や表現方法を学ぶ。</li> <li>・美容師国家試験取得に必要な技術の習得。</li> </ul> <p>【達成目標】</p> <p>創意工夫の意識を持ち、美容技術の向上を目指す。美容師国家試験合格を目指す</p>				
実務経験					
月	指導予定 時間数	指導内容			試験計画
4月	64	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロサンゼルス研修の作品制作のための練習</li> <li>・ワインディング及びオールウェーブ(国家試験課題) 構成の確認、タイム取り</li> </ul>			
5月	60	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロサンゼルス研修の作品制作及びフォトシューティング</li> <li>・ワインディング及びオールウェーブ(国家試験課題)タイム取り</li> </ul>			
6月	72	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘアショーの構成(ヘアメイクから衣装まで)と準備</li> <li>・ワインディング及びオールウェーブ(国家試験課題)タイム取り</li> </ul>			
7月	64	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘアショーの構成及び制作練習</li> <li>・ワインディング及びオールウェーブ(国家試験課題)タイム取り</li> </ul>			
8月					
9月	70	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘアショー仕上げ</li> <li>・ワインディング及びオールウェーブ(国家試験課題)タイム取り</li> </ul>			前期定期試験
10月					
11月					
12月					
1月					
2月					
3月					

【評価基準】

・定期試験の成績を100%とし100点法で評価

※学年の評価は定期試験の評価とし、59点以下の場合は合格するまで再試験を行う

令和2年度 学習指導計画

課目名	化粧品化学基礎		単位数	1	年間 時数	30
対象 学科	総合美容科	学年	1	クラス	1-A、1-B、1-C、1-D	
履修 時期	通年・ <b>前期</b> ・後期・その他( )			課目	必修課目・ <b>選択課目</b>	
使用教材	日本理容美容教育センター発行 化粧品化学 自作プリント			授業の種類	<b>講義</b> ・演習・実習	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】 化粧品に関する法律と取り扱い、化粧品原料、各化粧品の特性について学ぶ。</p> <p>【達成目標】 美容師国家試験に合格するために必要な化粧品についての科学的な基礎知識を修得させる。</p>					
実務経験						
時間	指導内容				試験計画	
1	第1章 第1節 化粧品の社会的意義と品質特性					
2~7	第2節 化粧品の規制					
8	第3節 化粧品の安定性と取り扱い上の注意					
9	第4節 化粧品と安全性					
10~14	第2章 第1節 化粧品の対象となる人体各部の性状 第2節 水性原料					
15~17	第3節 油性原料					
18~23	第4節 界面活性剤					
24~29	第5節 高分子化合物 第6節 色材				前期定期試験	
30	前期定期試験 解答 解説					

【 評価基準 】

・定期試験の成績を100%とし100点法で評価

※学年の評価は定期試験の評価とし、59点以下の場合は課題提出させ合格とする



## 令和2年度 学習指導計画

課目名	ビジネスマナー	単位数	2	年間 時数	60
対象 学科	総合美容科	学年	1	クラス	1-A、1-B、1-C、1-D
履修 時期	通年・前期・後期・その他(12月まで)		課目	必修課目・ <b>選択課目</b>	
使用教材	美容師のための接客・接客マナー		授業の種類	<b>講義</b> ・演習・実習	

**授業の概要と達成目標**

【授業の概要】  
基本的なビジネスマナー、接客、言葉使いの基本、諸文書・履歴書の書き方を教科書内容に準じ、各項目の説明・解説・練習問題等を実施する。

【達成目標】  
サロン従事者としての基本的接客知識などを習得する。定期試験において合格点を取得する。

実務経験

月	指導予定 時間数	指導内容	試験計画
4月	6	第1章 社会人としての心構え P. 7～18 第3章 言葉遣いの基本 P. 25～34	
5月	6	履歴書の書き方	
6月	10	履歴書の書き方、自己PR文の書き方	
7月	5	取引文書、まとめ、試験対策	前期定期試験
8月			
9月	8	サロン接客マナー	
10月	10	サロン接客マナー	
11月	8	社内文書・社外文書	
12月	7	まとめと試験対策	後期定期試験
1月			
2月			
3月			

【 評価基準 】

- ・定期試験の成績70%
- ・出席点10%
- ・提出物点10%
- ・小テスト点10% とし100点法で評価

※学年の評価は前期と後期の平均とし、59点以下の場合は課題提出させ合格とする

令和2年度 学習指導計画

課目名	サロンワーク		単位数	1	年間 時数	30
対象 学科	総合美容科	学年	1	クラス	1-A、1-B、1-C、1-D	
履修 時期	通年・前期・ <b>後期</b> ・その他( )			課目	必修課目・ <b>選択課目</b>	
使用教材				授業の種類	講義・演習・ <b>実習</b>	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】 サロンワークで必要なお案内やシャンプー、スタイリング、アップといった基礎技術を実践的に学ぶ。</p> <p>【達成目標】 卒業後のサロンワークで必要な接客・技術・マナーを実践的に習得させる。</p>					
実務経験						

月	指導予定 時間数	指導内容	試験計画
4月			
5月			
6月			
7月			
8月			
9月			
10月	6	サロンワークで必要な接客技術を身に付ける カウンセリング～サイドシャンプー技術 ブロー技術	
11月	6	カウンセリング～バックシャンプー技術 ブロー技術	
12月	6	シャンプー技術試験	シャンプー技術試験
1月	6	コテを使用した仕込み、編み込みを使ったアップスタイル、シニヨン	
2月	6	コテを使用した仕込み、夜会巻き パーティースタイル技術試験	アップ技術試験
3月			

【評価基準】

- ・シャンプー技術試験とアップ技術試験の平均点を学年の成績とし100点法で評価  
59点以下の場合には合格するまで再試験を行う

## 令和2年度 学習指導計画

課目名	サロンワーク		単位数	2	年間 時数	30
対象 学科	総合美容科	学年	2	クラス	2-A、2-B、2-C、2-D	
履修 時期	通年・前期・後期・ <u>その他</u> (11月まで)			課目	必修課目・ <u>選択課目</u>	
使用教材				授業の種類	講義・演習・ <u>実習</u>	
授業の概要 と達成目標	【授業の概要】 サロンワークで必要なお案内やシャンプー、カラーリング、ヘアスタイリングといった基礎技術を実践的に学ぶ。					
	【達成目標】 卒業後のサロンワークで必要な接客・技術・マナーを実践的に習得させる。					
実務経験						
月	指導予定 時間数	指導内容				試験計画
4月						
5月						
6月	3	社会人のマナー(言葉遣い、姿勢) 自己分析				
7月	3	シャンプー(サイド、リア) ドライ、ブロー、マッサージ、ヘッドスパ				
8月						
9月	9	カラーリング ヘアスタイリング(コテ、アイロンの使い方、アレンジ)				
10月	9	ヘアスタイリング(コテ、アイロンの使い方、アレンジ) 撮影(携帯のカメラを使いサロンのような撮影)				
11月	6	作品制作及び作品撮り				技術試験 作品を評価
12月						
1月						
2月						
3月						

**【 評価基準 】**

技術試験の成績を100%とし100点法で評価  
59点以下の場合は合格するまで再試験を行う

## 令和2年度 学習指導計画

課目名	美容学科演習	単位数	2	年間 時数	60
対象 学科	総合美容科	学年	2	クラス	2-A、2-B、2-C、2-D
履修 時期	通年・前期・ <b>後期</b> ・その他( )			課目	必修課目・ <b>選択課目</b>
使用教材	日本理容美容教育センター発行 ワークブック 美容師国家試験過去問題 課目毎プリント		授業の種類	<b>講義</b> ・ <b>演習</b> ・実習	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】 美容師国家試験(筆記試験)合格対策授業を講義や演習形式で行う。</p> <p>【達成目標】 美容師国家試験(筆記試験)合格を目指す。</p>				
実務経験					
月	指導予定 時間数	指導内容			試験計画
4月					
5月					
6月					
7月					
8月					
9月					
10月	8	ワークブック、美容師国家試験過去問題、課目毎プリントを行い それぞれ解答解説 重点項目の確認			テスト
11月	8	ワークブック、美容師国家試験過去問題、課目毎プリントを行い それぞれ解答解説 重点項目の確認			テスト
12月	8	ワークブック、美容師国家試験過去問題、課目毎プリントを行い それぞれ解答解説 重点項目の確認			テスト
1月	6	ワークブック、美容師国家試験過去問題、課目毎プリントを行い それぞれ解答解説 重点項目の確認			テスト
2月	30	模擬試験、ワークブック、美容師国家試験過去問題、 課目毎に国家試験対策講義 復習			テスト 外部模擬試験
3月					

【 評価基準 】

・各テストの平均点で評価

※学年の評価は各テストの平均点とし、59点以下の場合は課題提出させ合格とする。



令和2年度 学習指導計画

課目名	ヘアデッサン		単位数	1	年間 時数	30
対象 学科	総合美容科	学年	2	クラス	2-A、2-B、2-C、2-D	
履修 時期	通年・前期・ <b>後期</b> ・その他( )			課目	必修課目・ <b>選択課目</b>	
使用教材	自作プリント			授業の種類	講義・演習・ <b>実習</b>	

授業の概要  
と達成目標

【授業の概要】  
イメージごとのヘアスタイル画やデッサン技術を学ぶ。

【達成目標】  
お客様が求めるヘアスタイルをデッサン画として素早く作成できることを目標とする。

実務経験

月	指導予定 時間数	指導内容	試験計画
4月	4	カットの基本を描く(レイヤーカット、グラデーションカット、ワンレングスカット)	作品提出
5月	4	お客様のイメージを学ぶ(エレガント、クラシック、エスニック、フェミニン、アバンギャルド)	作品提出
6月	6	作品制作(ヘアショー展示作品) 写真を用いてヘアスタイルを写実的に描く	作品提出
7月	4	作品制作(ヘアショー展示作品) 写真を用いてヘアスタイルを写実的に描く	試験課題作品提出
8月			
9月	4	成人式に用いるアップヘア正面、横向き、白無垢の綿帽子、角隠しを描く	作品提出
10月	8	デザイン発想法、具象からのデザイン展開、オリジナルヘアデザインを描く	作品提出
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			

【 評価基準 】

- ・各テーマ毎の課題作品の点数
- ・試験課題作品の点数 の平均を100点法で評価

※59点以下の場合は課題提出させ合格とする。

令和2年度 学習指導計画

課目名	美容総合技術		単位数	7	年間 時数	210
対象 学科	総合美容科	学年	2	クラス	2-A、2-B、2-C、2-D	
履修 時期	通年・前期・ <b>後期</b> ・その他( )			課目	必修課目・ <b>選択課目</b>	
使用教材	日本理容美容教育センター発行 美容実習1			授業の種類	講義・演習・ <b>実習</b>	

授業の概要と達成目標

【授業の概要】  
 ・美容実習で習得した基礎技術の向上、衛生知識を学ぶ  
 ・サロンワークを視野に入れたより実践的な技術を学ぶ(ヘアアレンジ、カラーリング)

【達成目標】  
 ・就職後に役立つ知識、技術の習得  
 ・美容師国家試験(実技試験)合格を目指す

実務経験

月	指導予定 時間数	指導内容	試験計画
4月			
5月			
6月			
7月			
8月			
9月			
10月	15	カット(基本の切り方、レイヤーカット、サロンスタイル)	
11月	18	カット(国家試験課題)、ワインディング、オールウェーブ	
12月	33	国家試験課題、校内技術大会に向けての技術練習	
1月	120	国家試験課題	卒業試験 国家試験課題
2月	24	国家試験課題	
3月			

【評価基準】

- ・卒業試験の成績100%とし100点法で評価
- ・学年の評価は卒業試験の成績とし、59点以下の場合は合格するまで再試験を行う。

令和2年度 学習指導計画

課目名	ヘアテクニック I		単位数	2	年間 時数	60
対象 学科	総合美容科	学年	1	クラス	1-A、1-B、1-C、1-D	
履修 時期	通年・前期・ <b>後期</b> ・その他( )			課目	必修課目・ <b>選択課目</b>	
使用教材				授業の種類	講義・演習・ <b>実習</b>	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】 ・美容実習で学んだ基礎技術をもとに、カラーリングやヘアアレンジ、アップスタイルの基礎から応用までを学ぶ。</p> <p>【達成目標】 ・カラーリングやヘアアレンジ、アップスタイルの基礎から応用までの知識と技術を習得する。</p>					
実務経験						
時間	指導内容				試験計画	
1～3	カラー剤の知識					
4～6	カラー塗布練習、ウィービング					
7～12	ブリーチ、酸性カラー					
13～15	相モデルにてカラーリング 様々なパターンを学ぶ					
16～18	カラーリング筆記試験 ウイッグにて実技試験				カラーリングテスト	
19～21	アップ 道具の使い方 毛先の扱い方 ゴム、ピンの扱い方など					
22～24	編み込みスタイル					
25～30	編みこみスタイル応用					
31～36	アイロン・コテの使い方 アレンジテクニック					
37～42	イメージごとのヘアスタイル					
43～48	創作スタイルのデッサン画作成及びスタイル作り					
49～60	創作スタイルの作成				作品制作	

【 評価基準 】

・カラーリングの筆記試験及び実技試験の平均点をカラーリング試験点数とし、  
創作スタイルの点数との平均を100点法で評価。

※59点以下の場合は合格するまで再試験を行う。



令和2年度 学習指導計画

課目名	ネイルテクニック		単位数	2	年間 時数	60
対象 学科	総合美容科	学年	1	クラス	1-A、1-B、1-C、1-D	
履修 時期	通年・前期・ <b>後期</b> ・その他( )			課目	必修課目・ <b>選択課目</b>	
使用教材	テクニカルシステム ジェルネイル		授業の種類	講義・演習・ <b>実習</b>		
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】 JNAジェルネイル技能検定初級を受けるための基礎授業。</p> <p>【達成目標】 ジェルネイルの基礎知識・基礎技術を習得する。</p>					
実務経験						
時間	指導内容				試験計画	
1～6	道具の説明・ケア、相モデルカラー(ポリッシュ) ジェル検定初級DVD視聴・おylレパレーション・カラーデモ・オフデモ					
7～12	ジェル理論・相モデルジェルカラーリング&オフ(片手)					
13～18	相モデルジェルカラーリング&オフ(片手)					
19～24	ピーコックアート練習					
25～30	その他基本的なジェルアート					
31～36	相モデル ケア・カラー(ポリッシュ)・ジェルカラーリング通し					
37～42	ピーコック・ジェルアート					
43～48	相モデル ジェル検定初級 第二課題通し					
49～54	相モデル ジェル検定初級 タイムトライアル ※技術試験					
55～60	学科試験・ジェル自由制作					
<p>【 評価基準 】</p> <p>・学科試験及び技術試験の平均を100点法で評価。</p> <p>※59点以下の場合には合格するまで再試験を行う。</p>						

令和2年度 学習指導計画

課目名	メイクテクニック		単位数	2	年間 時数	60
対象 学科	総合美容科	学年	1	クラス	1-A、1-B、1-C、1-D	
履修 時期	通年・前期・ <b>後期</b> ・その他( )			課目	必修課目・ <b>選択課目</b>	
使用教材	JMA公式テキスト3・2 メイク道具一式			授業の種類	講義・演習・ <b>実習</b>	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】 メイク接客に必要なメイクテクニック・メイクマナーを学ぶ。</p> <p>【達成目標】 JMA3・2級に合格するために必要な知識、技術を習得させる。</p>					
実務経験						
時間	指導内容				試験計画	
1～6	セッティング・JMA3級スキンケア					
7～12	JMA3級ベースメイク					
13～18	JMA3級ハイライト・ローライト・チーク・顔分析					
19～24	JMA2級スキンケア・ベースメイク・ハイライト・ハイライト・チーク					
25～30	JMA2級アイブロウ・アイメイク・顔分析					
31～36	JMAアイメイク・リップ・顔分析					
37～42	JMA2級内容全て					
43～48	JMA3級・2級全て					
49～54	JMA3級・2級 模擬試験				JMA3級・2級試験	
55～60	イメージメイク(キュート・フレッシュ・エレガント・クール)					
<p>【 評価基準 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検定試験の成績80%</li> <li>・出席及び授業態度20% とし100点法で評価。</li> </ul> <p>※59点以下の場合は課題提出させ合格とする。</p>						

## 令和2年度 学習指導計画

課目名	ヘアテクニックⅡ	単位数	2	年間 時数	60
対象 学科	総合美容科	学年	1	クラス	2-A、2-B、2-C、2-D
履修 時期	通年・ <b>前期</b> ・後期・その他( )			課目	必修課目・ <b>選択課目</b>
使用教材				授業の種類	講義・演習・ <b>実習</b>
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美容実習で学んだ基礎技術をもとに、国家試験課題のレイヤースタイルを通じてシザーズの使い方を身に付ける。</li> <li>・似合わせの法則を学びイメージやタイプ別に合わせたヘアデザインの知識と技術を学ぶ。</li> <li>・指定されたイメージに沿ったヘアスタイルをカット、カラーリング、ヘアアレンジ技術を組み合わせて作成する。</li> </ul> <p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イメージやタイプ別といったより実践的なヘアデザインの知識と技術を習得する。</li> </ul>				
実務経験					
時間	指導内容				試験計画
1～12	国家試験レイヤーカット(鋏の使い方、カットの仕方などカットの基本)				
13～24	カット練習(レイヤーカット)				
25～30	カット練習(レイヤーカット)タイム取り、国家試験レイヤーカットスタイル試験				カット試験
31～33	似合わせの法則(理論)				
34～36	顔の形にあわせたスタイル作り				
37～39	似合わせの法則によるイメージ別ヘアスタイルの作成 カットやアレンジ(コテ・アイロン)によるスタイル作り				
40～42	似合わせの法則によるイメージ別ヘアスタイルの作成 カットやアレンジ(コテ・アイロン)・カラーリングによるスタイル作り				
43～48	似合わせの法則によるイメージ別ヘアスタイルの作成 カットやアレンジ(コテ・アイロン)・カラーリングによるスタイル作り				
49～54	指定されたイメージごとの作品創り				
55～60	作品制作				作品制作

【 評価基準 】

・カット試験の点数及び作品制作の点数の平均点を100点法で評価。

※59点以下の場合は合格するまで再試験を行う。

令和2年度 学習指導計画

課目名	和装技術		単位数	2	年間 時数	60
対象 学科	総合美容科	学年	1	クラス	2-A、2-B、2-C、2-D	
履修 時期	通年・ <b>前期</b> ・後期・その他( )			課目	必修課目・ <b>選択課目</b>	
使用教材	日本理容美容教育センター発行 美容技術理論2・美容実習2			授業の種類	講義・演習・ <b>実習</b>	
授業の概要 と達成目標	<p>【授業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浴衣の着付け(自装・他装)、オリジナルの帯結び</li> <li>・振袖の着付け(他装)、帯結び</li> </ul> <p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浴衣や振袖その他着物に関する基礎知識を習得する。</li> <li>・浴衣の着付け(自装・他装)と振袖の着付け(他装)技術を習得する。</li> </ul>					
実務経験						
時間	指導内容				試験計画	
1～6	浴衣の着付け(他装)					
7～12	相モデル浴衣の着付け・基本の帯結び					
13～18	相モデル浴衣の着付け・基本の帯結び					
19～24	浴衣の着付け(自装)					
25～30	様々な帯結び・各自オリジナルの帯結び					
31～36	振袖の着付け(他装)					
37～42	振袖の着付けと帯結び(お太鼓結び)					
43～48	振袖の着付けと帯結び					
49～54	浴衣の着付け(自装・他装)技術試験、口頭試問有り				浴衣着付け 技術試験	
55～60	総復習					

【 評価基準 】

・浴衣の着付け(自装・他装)の技術試験を100点法で評価

※59点以下の場合は合格するまで再試験を行う。

## 令和2年度 学習指導計画

課目名	エステティック	単位数	2	年間 時数	60
対象 学科	総合美容科	学年	1	クラス	2-A、2-B、2-C、2-D
履修 時期	通年・ <b>前期</b> ・後期・その他( )			課目	必修課目・ <b>選択課目</b>
使用教材	日本エステティック協会発行 認定フェイシャルエステティシャン理論と技術		授業の種類	講義・演習・ <b>実習</b>	
授業の概要 と達成目標	<b>【授業概要】</b> ・フェイシャルケア、ボディケア、フットケア、脱毛の基礎知識と技術を学ぶ <b>【達成目標】</b> ・フェイシャルケア・ボディケア・フットケア・脱毛の基礎知識と技術の習得 ・認定フェイシャルエステティシャン資格試験取得を目指す				
実務経験					
時間	指導内容				試験計画
1～3	フェイシャルケアについて 準備の仕方				
4～6	相モデルでポイントメイククレンジング				
7～12	相モデルでポイントメイククレンジング～全体クレンジング				
13～18	相モデルでポイントメイククレンジング～ディープクレンジング (スチーマー、酵素)				
19～24	相モデルでディープクレンジング(ブラシ、吸引)				
25～30	相モデルで機器(導入及びパター)				
31～36	ボディトリートメントについて、フットケアについて 相モデルでボディーマッサージ(下肢後面)				
37～42	相モデルでフットケア				
43～48	相モデルでボディー機器(バイブレーター低周波)				
49～54	筆記試験及び実技試験				筆記試験 技術試験
55～60	フェイシャル1時間 ボディ1時間で復習				

**【 評価基準 】**

・筆記試験と技術試験の平均点を100点法で評価

※59点以下は不合格とし課題提出させ合格とする。